磯っ子レポート No.25

花づくり講座と寄せ植えづくり

（4月2日）

大磯オープンガーデンフェスタ2006の「花づくり講座と寄せ植えづくり」のイベントに参加しました。

初めは花についてのお話でした。その話は大人向けだったので、わたしにはあまりわかりませんでしたが、その中でわかったのは、種は春にまくのは午前中で秋にまくのは夕方中にまくのだそうです。

なぜなら、春はだんだん暖かくなるので午前中にまくのがよくて、秋はだんだん寒くなってくるから夕方にまくのだそうです。

次にかごのような植木ばちに3種類の花を植えました。暖かくなって、植えた花がたくさん咲くのが楽しみです。

（内海七夕美）

高麗寺祭の山みこし

（4月17日）

この磯っ子レポートに参加して3年目になりました。一番最初にレポートした山みこしをもう一度見に行きました。

みこしはふもとの高来神社を6時過ぎに出発して、約3時間かけて山頂の本堂に着きます。

僕は出発してからしばらくみこしについて行きました。

途中の急な坂道にさしかかると、みこしが落ちたり倒れたりしないようにゆっくりと、でも気合を入れて時には勢い良く登っていきます。

僕は毎年見に行ってますが、やっぱり迫力があって、毎回見のがせません。

みこしをかつぐことはできないけれど、間近で見てとても感激しました。

（齋藤啓太）

皐月

「さつき」は、この月は田植えをする月だから「早苗月」と言っていたのが短くなったそうです。また、「さ」という言葉自体に田植えの意味があるので「さつき」だけで「田植えの月」になるという説もあるようです。

日本書紀では「五月」と書いて「さつき」と読ませていて、皐月と書くようになったのはあとのことだそうです。また、皐月は花の名前になっていて「菖蒲月」の別名もあるようです。

名前の由来で色々な発見があります。さつきの花が咲くのが楽しみです。

（齋藤亜里沙）

このコーナーを一緒に手伝ってくれるこども記者を募集しています。

◎問い合わせ
企画室　☎内線207

第50回神奈川県馬術大会 県知事杯を受賞

池田弘彰さん（寺坂）

津久井町、県馬術場において、開催された標記大会の障害飛越競技において、県知事杯を受賞されました。

神奈川県馬術大会は、県内の17団体、総エントリー数384組で競技がおこなわれ、県知事杯はこの大会の最高賞にあたります。

池田さんは今後も、全日本大会出場および青少年活動の育成に重点をおいて、活動されます。

◎問い合わせ
・生涯学習課　☎内線324
・池田宅　☎(71)8414

神奈川県看護賞を受賞

下澤　泉　保健師
（町子育て介護課勤務）

5月12日（金）の「看護の日」、神奈川県立音楽堂で県看護賞の贈呈式が行われ、本町子育て介護課勤務の下澤泉保健師をはじめ、助産師、看護師等10人に「看護章」が贈られました。

看護賞とは、多年にわたり看護職としてその業務に励み、顕著な業績をあげた方の功労に報いるとともに、県民の看護に対する理解を深めることを目的として設けられた表彰制度です。

◎問い合わせ
子育て介護課　☎内線309